

谷藤EYE通信

No.48
2013年
(平成25年)



上坊牧野の一本桜と岩手山

院長撮影



医療法人泰明会 谷藤眼科医院

URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~tanieye/>

白内障手術は簡単？ 院長 谷藤泰寛

既に皆様ご承知のように、医工学や医療技術の進化によって、普通の白内障手術はかなり安全となり、患者さんにとっても負担の少ない、例えば外来ベースで、10分ちょっとで終わって、場合によっては車を運転して帰っても良い等と喧伝されるまでになりました。

しかし、早くて小さい切開(2~2.5mm)で済むからといって、目の内部環境にとっては、決して小さくない長期間にわたる炎症が続くことが最近では注目されています。例えば、白内障術後の緑内障手術は効きにくいことが分かりましたし、手術に直接起因する術後の黄斑浮腫は最も有名でその予防法も点眼等で行われてはいますが、糖尿病のコントロールが良くない場合にはより問題となります。

その他、普通のように術後視力が出ない原因として非常に多くの病気が隠れている場合があります。

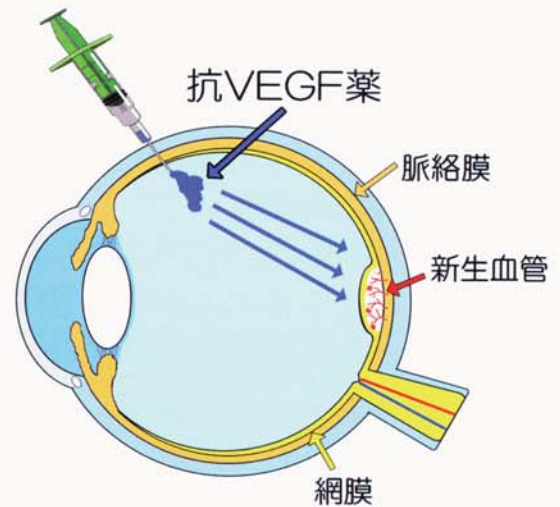
- 1) 加齢や動脈硬化に係る黄斑部に及ぶ眼底出血や小血管の閉塞、つまり網膜動・静脈の血栓症・閉塞症
- 2) 初期の黄斑変性、軟性ドルーゼ、網膜前膜、黄斑孔
- 3) サルコイドーシスをはじめとする慢性のぶどう膜炎
- 4) 視神経萎縮
- 5) 近視性の黄斑変性
- 6) 進行した緑内障
- 7) 網膜剥離
- 8) 小児期からの弱視
- 9) 脳卒中の後遺症 等々です。

これらの病状が手術前に完全に把握できていれば幸いですが、少し進行した白内障では眼底が精密には見えませんので、また時には術後になって症状が明らかになったりして、視力が出にくい原因となります。従って患者さんによっては不満足の原因ともなります。何れ、白内障と言われても放置せずに、時々精密検査を受け、先にあげたような疾患の早期発見と治療を行い、こうした場合には、手術をすればすべてOKという訳でもないことも理解しておくのが肝心ということでしょう。

最新治療と医療費

副院長 谷藤典子

加齢黄斑変性は、放置すると視力が低下し、日常生活が著しく不自由になる可能性がある病気です。加齢黄斑変性は欧米の失明原因の第一位を占める疾患で、現在わが国の失明原因の4位に挙げられます。脈絡膜から異常新生血管（脈絡膜新生血管）が発生することにより、重篤な視力障害をきたします。依然発生原因は不明ですが、近年、脈絡膜新生血管の発生に関係するVEGF（血管内皮増殖因子）という物質を抑える薬剤が発売されました。



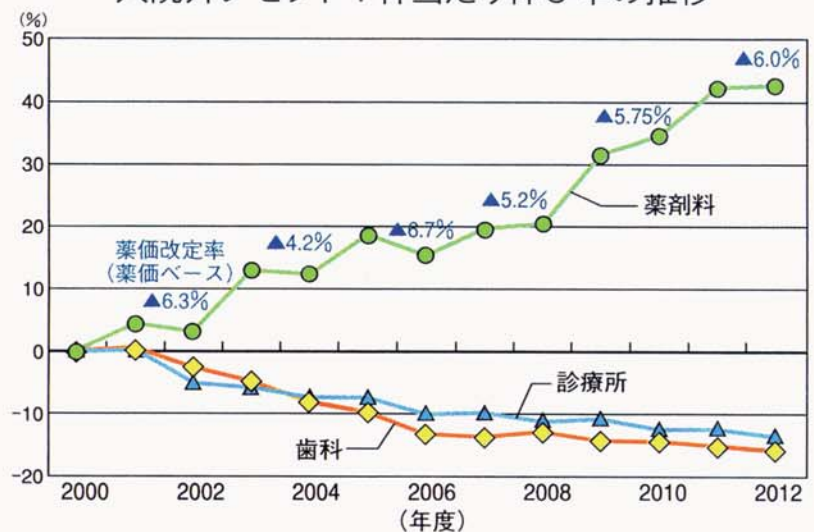
加齢黄斑変性薬剤治療

この薬剤は VEGF の働きを短期間抑える薬です。薬剤の硝子体内注射により、脈絡膜新生血管の発生が抑えられ加齢黄斑変性を治療します。

今までは有効な治療法がなかった病気だけに、画期的な薬剤が発売されたのです。しかし、この薬剤は非常に高価で価格が約 17 万円もします。用法は毎月 1 回、3 カ月連続して注射をします。その後は病状によって追加注射します…とすることは最低でも薬剤料だけで 57 万円もかかってしまうのです。

増加を続ける医療費の要因は医科、歯科診療所の儲け過ぎが原因ではなく、際限なく増え続ける薬剤費にあります。レセプト1件当たりでみると、入院外医療費は診療所（-13.6%）、歯科（-15.8%）と、ともに年々減少しています。しかし、薬剤料は年々増加を続け、2012 年度には +42.4% と天井知らずの伸びを示しました。

入院外レセプト1件当たり伸び率の推移



これら薬剤費高騰の背景には、日本の高薬価構造があります。それが是正され、その財源が技術料引き上げや患者負担軽減の方に振り向けられ、良い方向へ医療の改善が進むことを期待します。

どうして眼鏡をかけるの？

—子供の遠視について—

検査主任 山本早弥香

眼鏡をかける理由は人それぞれ、近視や乱視、遠視など見えにくく生活に支障をきたす場合にかけることがほとんどです。よく、視力がいいのにどうして眼鏡をかけるのか？という質問を耳にします。

それは、遠視だからです。遠視の場合、遠くを見るためにも他の人が近くを見るのと同じようにピントを合わせなければなりません。近くを見るときは、その遠視に合わせてさらにピントを合わせなければならないのです。絶えず眼の調節が必要となるため、大人も子供も、疲れやすく、集中できずに、勉強や仕事の能率が上がらないなどの症状がでてきてしまいます。

近くを見るときにはピントを合わせる（調節）と同時に眼が内側に寄ります（輻輳）。調節と輻輳は脳の中でつながっているので、遠視のため過度に調節する必要があるとすれば、その眼は内側に寄りすぎてしまう傾向にあります。子供の場合、遠視の度が強くなると内斜視になったり、視力の発達がまだ不十分な小児などは弱視になったりすることもあるので、できるだけ早く発見し、正しい治療で視力を育てることが大事になります。

子供の遠視は3歳児健診や就学時健診などで発見されることが多いですが、弱い遠視や中程度の遠視の場合、見逃されてしまうことがあります。またご家庭でのお子さんの行動や眼の向きなどの観察により早期発見することも大変重要になります。健診で視力の低下が疑われた場合などには精密検査を行い、遠視かどうか判断する必要があります。

子供の場合、調節して物を見ているため、普通の視力検査だけでは正確な度は分かりません。調節を一時的に休める目薬を点眼したうえで検査します。必要に応じて眼鏡を作成し、斜視や弱視がある場合は治療・訓練を始めることもあります。

それから、一度眼鏡を作ったものの、かけなくても見えるからと勝手な判断で装用を中止させる方も時々います。遠視の場合は、お風呂や寝るとき以外は常にかけていることが原則です。

子供の視力の発達を妨げないためにも、自己判断ではなく、定期的に眼科に受診し、自分に合った眼鏡をかけるようにしましょう。



No.48：平成25年（2013年）10月・11月・12月号



医療法人泰明会 谷藤眼科医院

〒020-0127 岩手県盛岡市前九年2丁目2-38
TEL：019(646)2227 FAX：019(645)3811